資料３

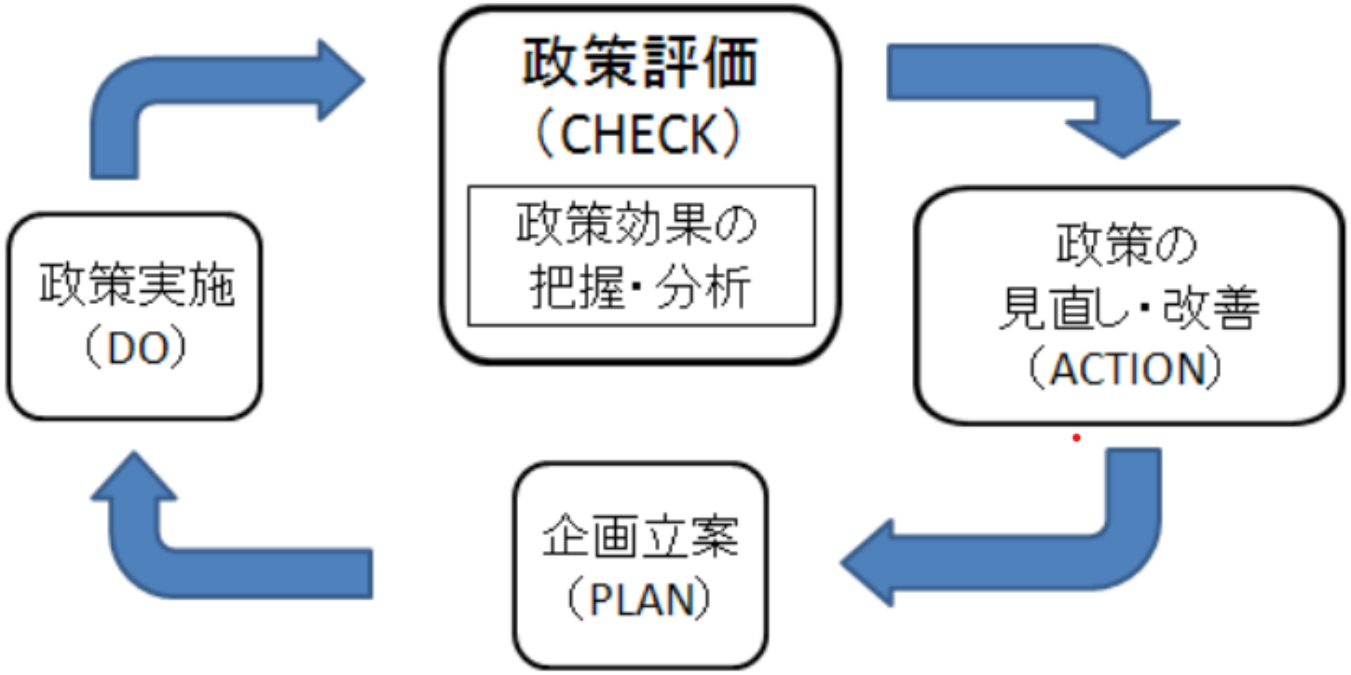
統計品質管理推進室が実施する ビッグデータ利活用推進事業について

～ビッグデータ等の利活用推進に係る政策評価に沿って～

令和６年８月７日
総務省統計品質管理推進室

政策評価（制度）とは

政策評価とは、各府省が行う政策について、自らその政策の効果を把握・分析し、評価を行うことにより、次の企画立案や実施に役立てるとともに、その結果を政策に適切に反映させ、政策の見直しや改善を加えること。



政策評価制度の目的

- ○ 効果的・効率的な行政の推進
- ○ 政府の諸活動について国民に説明する責任を全う

総務省の政策評価実施計画について

○　令和5年度に総務省政策評価基本計画（令和5～9年度）を策定。

○　基本計画では、総務省の主要な政策を19に分類し、計画的に評価を実施。
（令和５年度：６政策実施、令和6年度：６政策実施予定）

行政分野	主要な政策		担当部局
行政改革・行政運営	政策１	適正な行政管理の実施	行政管理局
	政策２	行政評価等による行政制度・運営の改善	行政評価局
地方行財政	政策３	分権型社会にふさわしい地方行政体制整備等	自治行政局
	政策４	地域振興（地域力創造）	自治行政局
	政策５	地方財源の確保と地方財政の健全化	自治財政局
	政策６	分権型社会を担う地方税制度の構築	自治税務局
選挙制度等	政策７	選挙制度等の適切な運用	自治行政局選挙部
電子自治体	政策８	電子自治体の推進	自治行政局
情報通信（ＩＣＴ政策）	政策９	情報通信技術の研究開発・標準化の推進	国際戦略局
	政策１０	情報通信技術高度利活用の推進	情報流通行政局
	政策１１	放送分野における利用環境の整備	情報流通行政局
	政策１２	情報通信技術利用環境の整備	総合通信基盤局
	政策１３	電波利用料財源による電波監視等の実施	総合通信基盤局
	政策１４	ＩＣＴ分野における国際戦略の推進	国際戦略局
郵政行政	政策１５	郵政行政の着実な推進	情報流通行政局郵政行政部
国民生活と安心・安全	政策１６	一般戦災死没者追悼等の事業の推進	官房総務課管理室
	政策１７	恩給行政の推進	政策統括官（恩給担当）
	政策１８	**公的統計の体系的な整備・提供**	**統計局、政策統括官（統計制度担当）**
	政策１９	消防防災体制の充実強化	消防庁

今回、当室で実施しているビッグデータ利活用推進事業が選定されたことから、その状況についてご報告させていただくもの

テーマ：ビッグデータ等の新たなデータソースの利活用推進（目的・課題）

事業の目的

ビッグデータ等の利活用により、公的統計の作成効率化・報告者負担の軽減、統計調査では困難な早期の統計作成・公表や経済社会の実態把握を推進するとともに、これらを通じ、効果的かつ効率的な行政の推進を図ること

背景

- 国民の意思決定やEBPMを支える基礎である公的統計は、統計調査によって作成されるもの（調査統計）が中心であるが、統計調査は報告者に回答負担を課すものであるとともに、調査票回収・集計作業を経て統計が利用可能となるまで一定の時間を要するといった制約がある。
- 他方、近年のデジタル技術の進展に伴い、民間企業が保有する各種のビッグデータ等の有用性が高まっており、これらを公的統計に有効に活用することにより、以下の効果が期待されている。
  - ✓ 調査業務・集計業務の一部をビッグデータ等で代替することによる、**公的統計の作成効率化・精度向上 及び 統計調査の報告者負担軽減**
  - ✓ **調査統計より早期の統計作成・公表**、統計調査では取得できない大量のデータ利用による**経済社会の詳細な実態把握**

目的の達成に向けた課題

- 既存の公的統計（の一部）をビッグデータで代替するためには、ビッグデータの特性（偏りやノイズ、公的統計との整合性など）の十分な把握、安定的・継続的な入手方法の確立、処理を行うためのシステム面・体制面の整備など、多くの困難の解決が必要
- そのため、各府省における取組をサポートする観点から様々な試行的な取組を積み重ね、各府省におけるビッグデータの活用の裾野を広げていくことが必要
- 「公的統計の整備に関する基本的な計画」（平成30年３月６日閣議決定。令和5年3月28日最終改正）を受け、事業開始からおおむね５年が経過。これまでの取組を振り返り、必要な見直しを図りながら、引き続き取組を推進・強化していくことが必要 【テーマ選定理由】

テーマ：ビッグデータ等の新たなデータソースの利活用推進（具体的取組）

具体的取組と効果

※【 】内は、指標/各年度実績（＊については令和５年度までの累積）

アクティビティ	アウトプット	短期アウトカム	中期アウトカム	長期アウトカム
ビッグデータ利活用に係る実証研究等の実施 ● ビッグデータ等の特性を踏まえた統計業務への利活用可能性を総務省（政策統括官室）で把握・検証 ✓ 人流データの特性の分析、宿泊者数に関する先行指標開発の研究（H30年度～） ✓ これまで未作成のSDGグローバル指標を人工衛星データを用いて作成し、その精度や有効性について検証（R２～３年度） 等 ● その成果を「ビッグデータ連携会議」等を通じ各府省に共有（H30年度～）	● ビッグデータの活用の検討 【活用件数/２件＊】 ● ビッグデータ利活用に係る実証研究 【研究件数/１件＊】 ● 連携会議の開催 【会議開催件数/R3:5回、R4:2回、R5:２回】	● 利活用上の課題の解決に向けた情報等の共有を通じ、各府省でビッグデータを活用した試行的な取組を実施 【各府省での活用件数/R3:5件、R4:6件、R5:6件】 【各府省での検討件数/R5:5件】	● 公的統計の作成におけるビッグデータ等の利活用の推進 ● 公的統計の作成効率化・報告者負担の軽減の推進 ● 公的統計の活用やビッグデータ等を活用した統計的分析などを通じたＥＢＰＭの推進 <目標> ビッグデータ等の活用を検討又は経常的に活用している公的統計等の数の増加	● 早期の統計作成・公表や経済社会の実態把握の充実など公的統計の質向上 ● 効果的・効率的な行政の推進 ● 社会における合理的な意思決定の推進
ビッグデータ・ポータルの運営 ● データ保有者と潜在的な利用者等をマッチングするため、ポータルサイトの試行運用を開始（R５.１.31～） ● 各府省や地方公共団体、民間企業等におけるビッグデータ等の利活用に関する情報を各府省等に共有	● ビッグデータ情報の掲載 【新規掲載件数/R4:15件、R5:12件】 ● ビッグデータの活用事例の掲載 【新規掲載件数/R4:28件、R5:21件】	● 所在情報や活用事例等の提供を通じ、各府省等でビッグデータの活用を検討 【アクセス件数/R4:3,009件、R5:30,249件】		

テーマ：ビッグデータ等の新たなデータソースの利活用推進（効果検証・課題認識）

事業の効果検証と課題認識

- これまで、実証研究における知見の蓄積や、連携会議やポータル等を通じた各府省等への情報提供を推進・展開
- こうした中、ポータルのアクセス件数が増える一方で、【中長期アウトカム】につながっていく**「各府省等におけるビッグデータの利活用の試行・検討」**【短期アウトカム】が全体的になかなか進んでいない現状
  これには、ビッグデータの利活用には一定の知識・能力や体制面の整備等を要するものであるところ、その前提となる各府省・各部局等における統計の作成・利用状況やビッグデータの利活用可能性に関する認識、業務体制等の事情がまちまちであることも踏まえると、以下の要因が考えられるのではないか

① 現状のアクティビティが、「ビッグデータ利活用による統計作成やEBPM推進」【中長期アウトカム】につながる（と各府省が感じられる）ものとなっていないのではないか

アクティビティの課題

ビッグデータ利活用に係る実証研究等の実施

- ビッグデータを活用した新指標を総務省が自ら作成することが中心
- 成果を会議で一様に共有

▼

- 各府省において応用が利くような実践的な研究になっていないのではないか
- 各府省の個別の実情に応じた情報提供になっていないのではないか

ビッグデータ・ポータルの運営

- これまで、ビッグデータ情報のひとまずの数集めに注力
- ポータルサイトへの掲載のみでそれ以上の個別の情報提供は行っていない

▼

- 各府省に参考となるコンテンツが少ないのではないか
- 必要な府省・部局に情報が届いていないのではないか

② 「ビッグデータを活用した検討・試行」【短期アウトカム】の現状を的確に把握できていないのではないか

指標の課題

- 各府省での活用・検討件数【短期アウトカム指標】は、各府省の統計担当部局への照会を元に把握

▼

- いわゆる政策部局における政策分析等の試行については、必ずしも十分に把握できていないのではないか

テーマ：ビッグデータ等の新たなデータソースの利活用推進（今後の方向性）

今後の取組の方向性

- ビッグデータを活用した指標の開発や分析を始め、各府省等における具体の統計や政策立案の改善につながるよう、個別ニーズにより即した施策を効果的に展開する観点から、以下の取組にチャレンジしていく。

役立つ情報へ

ビッグデータ利活用に係る実証研究等の実施

✓ 各府省の現状・要望を踏まえ、共同で研究を行うなどにより、データの入手から活用までのノウハウを含めた、より実践的な研究を行う。

ビッグデータ・ポータルの運営

✓ 各府省等における利活用事例、特に政策立案の改善や行政コストの低減等の効果を上げた事例を掲載・充実するなど、掲載コンテンツの編成を見直す。

＋

プッシュ型へ

✓ 総務省（政策統括官室）の通常業務を通じて得られた公的統計に係る情報も有効に活用し、潜在的な利活用ニーズを掘り起こす。

✓ 各府省のEBPM推進を支援している総務省行政評価局等の協力も得て、該当府省・部局の政策立案に生かせるようなデータの取り方の工夫も含め、ビッグデータの利活用を能動的に提案する。

✓ コンテンツ掲載企業から、自社データの公的統計やEBPMへの利活用に係る提案・情報を把握し、当該統計や政策の所管府省へと橋渡しすることにより、データ保有者と潜在的利用者のマッチング率を高める。

- 上記取組の推進と併せて、政策部局も含めた各府省でのビッグデータ利活用の取組の現状をより的確に把握し、効果の波及状況をウオッチしていく。